

県立高校の工業科について

1 現状

学校名	学科名	定員 (H29)	進路状況 (H29.3卒)
桜井	土木	40	進学 14名(35.0%) 就職 26名(65.0%) 〔求人 114名(4.4倍) 内定 26名(100%)〕
魚津工業	機械	80	進学 33名(22.3%) 就職 115名(77.7%) 〔求人 851名(7.4倍) 内定 115名(100%)〕
	電気	40	
	情報環境	40	
	小計	160	
滑川	薬業	40	進学 18名(45.0%) 就職 22名(55.0%) 〔求人 112名(5.1倍) 内定 22名(100%)〕
富山北部	くすり・バイオ	40	進学 16名(41.0%) 就職 23名(59.0%) 〔求人 178名(7.7倍) 内定 23名(100%)〕
富山工業	機械工学	80	進学 79名(25.1%) 就職 236名(74.9%) 〔求人 956名(4.1倍) 内定 236名(100%)〕
	電子機械工学	40	
	金属工学	40	
	電気工学	80	
	建築工学	40	
	土木工学	40	
	小計	320	
高岡工芸	機械	40	進学 123名(47.9%) 就職 134名(52.1%) 〔求人 1,174名(8.8倍) 内定 134名(100%)〕
	電子機械	40	
	電気	40	
	建築	40	
	土木環境	40	
	工芸	30	
	デザイン・絵画	40	
	小計	270	
砺波工業	機械	80	進学 40名(26.5%) 就職 111名(73.5%) 〔求人 650名(5.9倍) 内定 111名(100%)〕
	電気	40	
	電子	40	
	小計	160	
	合計	1,030	

県立高校における工業科の定員割合 14.3%
(石川県 13.2% 福井県 13.1% 全国 9.8%)

2 「県立学校整備のあり方等に関する報告書」における提言

(1) 定員

- ・平成27年における定員割合は、工業科が14.3%となっている。
- ・工業系の定員割合については、ものづくり教育の重視の観点から、現在の定員割合を維持することが望ましい。

(2) 学科の配置

- ・地域産業を支える人材育成、地域バランスに配慮した工業科高校の配置などの点に配慮し、県東部と県西部に各1校あるものづくりの中核校を含め、県内4地区に各1校、工業科単独校を配置することが望ましい。
- ・普通科に併設された1学級の工業科については見直すことが望ましい。ただし、伝統産業の担い手の育成や地域のニーズ等必要性が高い場合は、当面存続することが望ましい。

